

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人リバーバンク
役職	
氏名	鈴木秀典
着任日	令和5年10月1日

活動月	令和7年8月(着任1年11ヶ月)
主な活動	・北海道厚真町の視察 ・高知県四万十町の視察 ・アテンド ・祭り、盆踊りの参加 ・台風被害

・北海道厚真町の視察

北海道の厚真町はエーゼロによる起業支援があることで、移住して起業をする方が多く、地域おこし協力隊の支援制度もハス
カップやいちごなど農業に対する支援から始まり、今は馬搬、バギー、お酒の醸造など、さまざまな分野での起業が進んでいる実
態を確認してきた。

実際の起業となるとハードルが高く、孤独になりがちな部分をまちぐるみで支援している様子がとても羨ましかった。



地域おこし協力隊活動報告書

・高知県四万十町の視察

四万十町はデザイナーの梅原真さんが全体のブランディングを行うことで、町をあげてブランドが浸透してきており、道の駅の売上や、阪急、東京での出店でも好成績をおさめているので、その要因を探るべく、視察を行なった。四万十ドラマの元代表である畦地さんに色々とお話を伺う中で、四万十が大切にしようとしているものをしっかりとブランド化されていることがとても重要だと感じたため、南九州市において何が起きかわるのかを、しっかりと考えていきたいと感じた。



・アテンド

博多の催事で一緒した、熊本で茶農家をされている富澤さんが視察に来てくださり、穎娃を中心にアテンドを行なった。これからのお茶需要であったり、九州から先の売り出し方、有機への転換や、販路の拡大など、マーケットについての話も色々意見交換をできた貴重な時間となった。



地域おこし協力隊活動報告書

・祭り、盆踊りの参加

知覧の盆踊りへの参加、川辺の学童の子供達のお祭りへの参加と、それぞれ大々的でへないながらも居心地の良い空間を作り上げる盆踊り、お祭りへ参加した。

知覧の盆踊りは、ちょうど移住検討をされている方が知覧に来られていたので、お誘いしたところ、住民等で作るお祭りの暖かさであったり、活気を感じていただくことができ、良い時間を過ごしていただくことができた。



・台風被害

8月の21日と22日で被害を受けた台風によって、普段見慣れた景色が一変した。

南九州市で始まっているLINEを使った被害報告を議員の方々が懸命に発信されていたので、自ら利用したところ、とても使いやすい設計がされていて、これからこのようにオンラインで情報が集められていくことで人口が減っていくときの対応も進みやすいのではと考えた。

情報把握から復興期に移っていくが、これからも自分にできる動きを考えながら活動していきたいと思う。

